

株式会社ジェイコム東京 杉並・中野局（杉並エリア）

2022 年度放送番組審議会 議事録

1. 開催日時

2023 年 3 月 14 日（火）13 時より

2. 開催場所

東京都中野区中野 4-1-1
中野サンプラザ「リーフルーム」

3. 出席者

委員長 佐久間ヒロコ様
委員 （ご出席）板倉徳枝様、川副隼平様、山ノ内凜太郎様
（ご欠席）金田一秀穂様、藤山健次郎様
事業者側 杉並・中野局 局長 前田浩慶、杉並・中野局 管理部長 雲田誠史、
杉並・中野局 地域プロデューサー 芦澤公一、森明子
株式会社ジェイコム東京 地域コミュニケーション統括部 奥田貴一、
中野事務所 拠点長 東照審

4. 新委員ご紹介

事業者側より、出席した委員全員の紹介があった。

5. 委員長選出

佐久間ヒロコ委員長が全委員の賛同をもって選出された。

6. 報告事項

事業者側から事業報告及び J:COM チャンネル（11ch）と J:COM テレビ（10ch）について報告。

7. 議題（審議番組：『ジモト応援！つながる News』について）

各委員からは、審議番組に関して以下のような意見が出された。

- 区民が JR 高円寺駅南口広場で、偶然ジェイコムの撮影を見かけることが視聴のきっかけになると思う。
- スタジオのみでの収録よりも開かれたイメージ。出演するゲストの基準はあるのか。
- 高円寺に行くとジェイコムがいるということが定着すると思う。例えば学園祭開催について学生が告知出来る枠はあるか。
- 普段から学生など若者と触れ合う機会が多いため日頃から感じていることだが、学生が告知コーナーに出演すると SNS などで拡散され、若者の視聴者が増える可能性がある

思う。

- キーステーションのデメリットや課題はあるか。
- 悪天候時など、臨機応変な対応が必要だと思う。天候にリスクがある場合は、見ている方も良い印象ではないのでスタジオ撮影でも良いと思う。
- キーステーションはライブ感があってよい。今後他の場所にもキーステーションを設置する予定があるか。
- 親子連れの多い荻窪のタウンセブン屋上での撮影はどうか。
- QRコードを画面に表示し、視聴者がすぐに情報にアクセスできるようにならないか。QRコードと番組タイトルが常に出ている状態にできないか。

事業者側からは以下の発言があった。

- 区内のキーステーションである JR 高円寺駅南口広場について、区民の目に触れること、ダンスなどパフォーマンスを行っていただくことを想定し、広い場所を選定した。
- ゲスト選定の基準はない。区民に今一番お知らせしたいことを考えゲストを選定している。
- 学生に限らず、25 分の番組内で後半の 2 分程度地域の方が告知できる枠を設けている。作品展の PR など、キーステーションで告知できることが徐々に浸透してきている。告知コーナーがあると番組を最後までご覧いただける効果もあると考えている。
- 悪天候だけではなく夏の暑さ対策、冬の寒さ対策なども必要である。
- まずは毎週金曜日にジェイコムが JR 高円寺駅南口広場で撮影していることを知っていたきたい。ただし、桜の開花など放送内容によってはキーステーションを変えて放送するなど柔軟に対応していきたい。
- お子様の出演許可が必要にはなるが、タウンセブン屋上は検討したい。
- QRコードについては表示している時もある。30 秒以上表示しないと視聴者がアクセスできない可能性もあり、今後の検討課題としたい。また、「ど・ろーかるアプリ」から視聴されている方が QRコードを読み取れないケースもあり、併せて今後の検討課題としたい。

7-1. 議題（審議番組：『ジモトに乾杯！居酒屋秀ちゃん』について）

各委員からは、審議番組に関して以下のような意見が出された。

- 昨年度(2021 年度)スタートした番組だが、番組の反響はどうか。
- 看板娘役の西村まどかさんについて、もっと個性を出せるように制作した方がよいと思う。
- 地域にあまり興味がない視聴者層の対策として、若い層が出演した方が面白いのではないか。
- 自分自身は地元愛が強いと感じており、同じく地元愛の強い方がゲストとして出演するため、共感が持てた。出演していたゲストの方と何か一緒に出来ないかと思った。
- 以前ゲストとして自分が出演した際に、中山秀征さんの番組の進め方が上手なので盛り上がった。ゲスト同士の地域は異なるが、地元を愛しているという共通点があり、つながっていくことができるのではないかということを感じた。出演したゲストは高い評価を持っていると思う。
- 番組を途中から見ると何の話題かわかりにくい。今何の話題なのか、テロップで表示してほしい。
- 一番反響があった回はどの回か。

事業者側からは以下の発言があった。

- 制作側よりも、出演されたゲストの方への反響が大きい。
- 台本上西村まどかさんのキャラクターも活かせる構成にしていきたい。
- 番組がスタートして約 1 年半が経ち、視聴者ニーズをとらえて仕掛けていくことも必要な時期である。

- ゲストの方と視聴者がつながる、またゲストの方同士がつながる。ゲストの方次第で視聴者層も変わるなど、立体的に地元を盛り上げることがコンセプトの番組なのでうれしいご意見をいただいた。
- テロップの出し方は常に改善していきたいと考えているので、ご意見を参考にさせていただきたい。
- 大きく反響があった回があるというよりは、徐々に反響が出ている状況。

7-2. 議題（審議番組：『ふくあじ』について）

各委員からは、審議番組に関して以下のような意見が出された。

- 知らなかったお店を知ることができてよかった。
- 視聴時に手元にスマホを置いているケースが多いと思うので、ぜひ QR コードを取り入れてほしい。
- 自分が行っているお店の紹介だと嬉しい。お店の選定もよい。
- メニューについてだけではなく、店主のバックグラウンドについても知ることができるのがよい。
- 身近に街を感じることができる番組である。
- 出演された店舗にステッカーなどノベルティを設置できないか。

事業者側からは以下の発言があった。

- ノベルティについて、現状制作していないので検討したい。

8. その他の番組、放送に対するご意見

委員から以下の意見があった。

- 1～2 分でいいので外国人向けの英語の番組を放送してほしい。日本人にとっても英語の勉強になると思う。
- 中学、高校の部活動を取り上げてほしい。

事業者側から以下の発言があった。

- 杉並区には多くの外国の方が居住していることは承知している。ただ、英語の番組を制作できる人員の確保が難しいなど、ハードルが高いのが実情。
- コロナ禍も落ち着き学校への取材も出来るようになった。今後も取材していきたい。